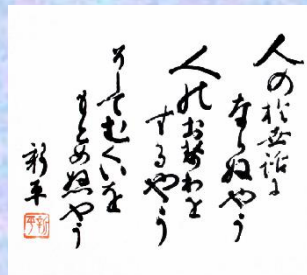


後藤新平記念館通信

奥州市立後藤新平記念館

R8年4月号



【自治三訣】

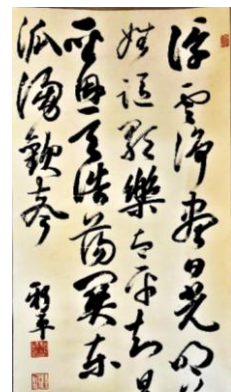
【令和8年度第1回企画展】

新収蔵資料展～仁徳かまどを巡る著名後援者と秘書秘蔵写真を中心に～

現在後藤新平記念館では令和8年度第1回企画展「新収蔵資料展」を6月14日（日）まで開催しております。今回の企画展は、令和6年春に開催された新収蔵資料展以降、新たに収蔵された資料を展示公開するものです。

【主な展示資料】

- ◇ 東京都市計画図・・・衆議院議員、盛岡市長を務めた大矢馬太郎が後藤新平より授けられたと伝わる「大正10年東京都市計画図」
- ◇ 仁徳電賛助員名簿・・・柳館清太郎が特許を取得・販売した「仁徳電一名「民の電、」の趣意書と賛同者の署名簿
- ◇ 後藤新平秘書秘蔵写真・・・後藤新平の秘書を務めた菊池忠三郎収蔵の写真
- ◇ 後藤新平揮毫扁額・掛軸



後藤新平揮毫掛軸

副題の「仁徳かまどを巡る著名後援者」の詳しい内容は下記【学芸調査員の収蔵資料展より一品紹介】をご覧ください。

【学芸調査員の収蔵資料展より一品紹介】

新家庭生活改善 発明！仁徳かまど 組合せ次第で鍋を選ばず

『日本書紀』に“仁徳天皇が高台から都を見渡し、かまどの煙が立たないのを見て民の貧しさを悟り、租税や労役を数年間免除し、自らの宮殿修理も後回しに民の暮らしの回復を優先しました。生活が安定した民は自発的に納税を申し出る”という奈良時代に編纂され語り継がれた治世の逸話があります。

今回の一品は、南部藩領(現・秋田県鹿角市)出身の柳館清太郎が特許を取得・販売した省エネかまど「仁徳電一名民の電」趣意書と賛同者87人の署名簿です。大小異なる輪型鍋枠を組み合わせることにより、一つの電(かまど)でどんな炊具も使用できる合理的・経済的な発明でした。

芳名録筆頭には南部利淳伯爵、続いて寄付者祖父大矢馬太郎・葛西重雄・金田一國士・田子一民・田中館愛橘・鈴木巖・太田幸五郎・瀬川弥右衛門・宮澤政次郎・内藤虎次郎・高橋是清・鳩山春子・大江スミ・下田歌子・徳富蘇峰・永田秀次郎らが名を連ね、公爵伊藤博邦、子爵後藤新平、子爵渋沢栄一ほか推奨の言葉が収められています。(淑)

〔調査協力：盛岡市民の歴史探究館・二戸歴史民俗資料館〕



※5月の休館日は7日(木)、11日(月)、18日(月)、25日(月)です。
ゴールデンウィーク中の2日(土)～6日(水)も開館しております。

